

平成24年度 学校評価 児童アンケート集計結果



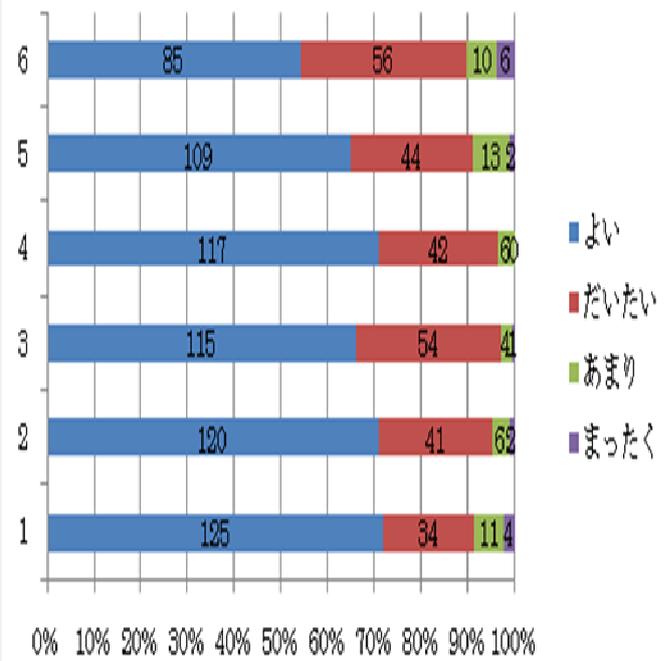
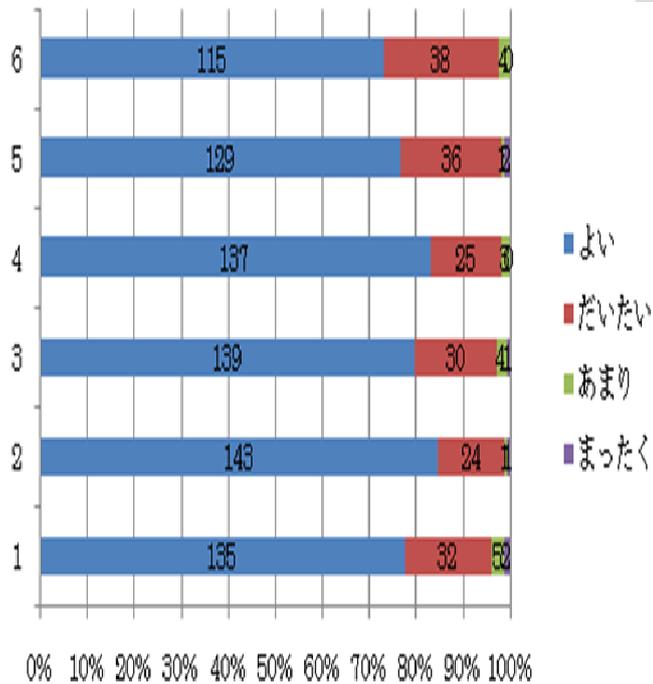
先生に関するイメージ

「しかる」「ほめる」メリハリのある指導ができています。「よいところをほめられている」という意識をもっている児童が、昨年より少し増えている。

1 先生は、悪いことをしたら、ちゃんとしかってくれる。

H24年度

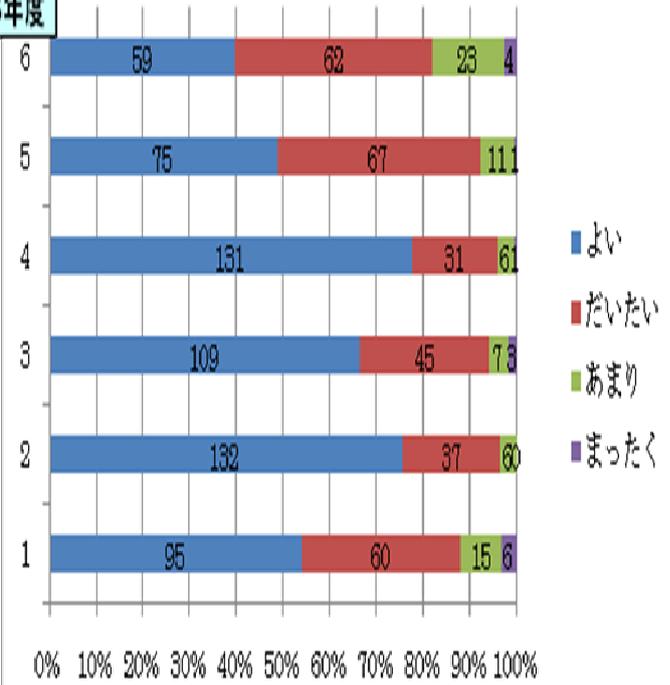
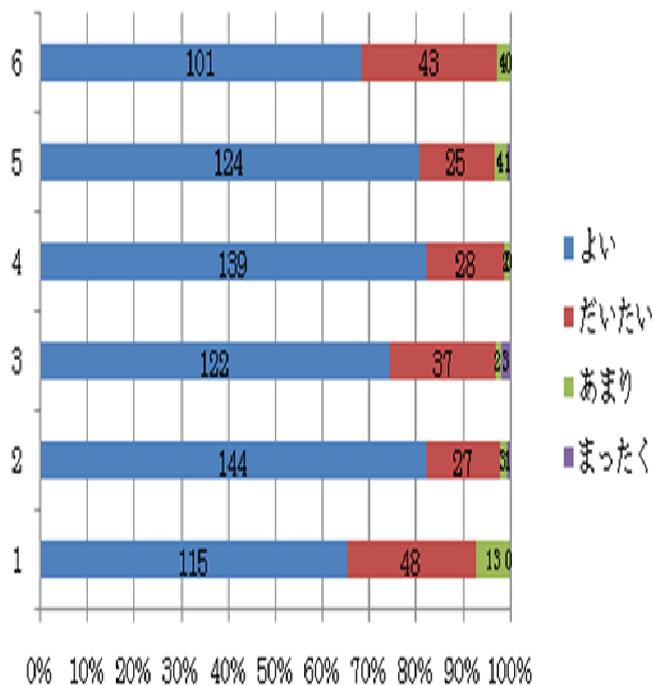
2 先生は、がんばったことやよいところをほめてくれる。



1 先生は、悪い(わるい)ことをしたら、ちゃんとしかってくれる。

H23年度

2 先生は、がんばったことやよいところをほめてくれる。



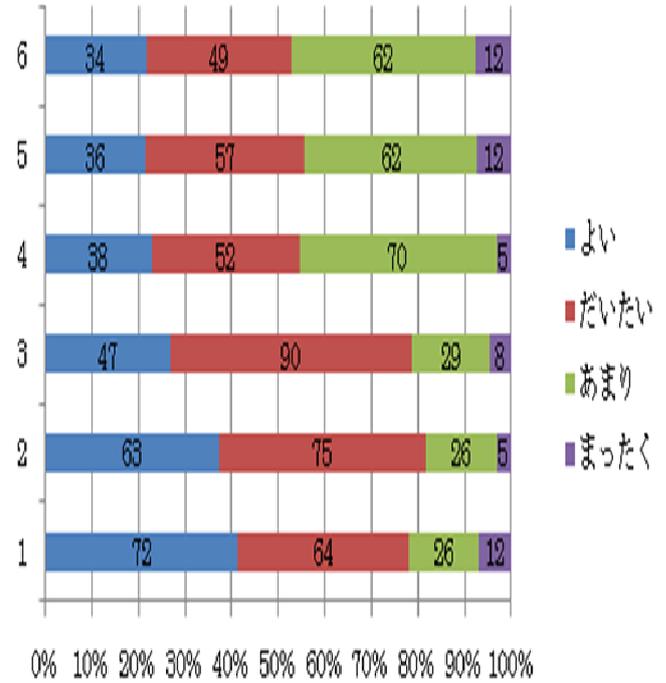
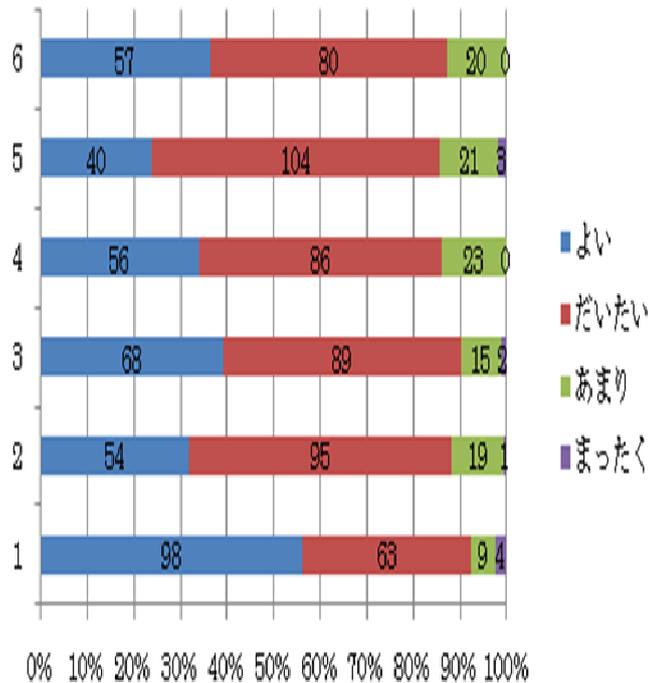
「聞く」「話す」に関するイメージ

人の話は、ほとんどの児童がよく聞いている。「自分の考えを発表する」は、高学年ほど課題が残った。今後も、発言を認め合う学級の雰囲気づくりに取り組んでいかなければならない。

3 人の話(はなし)を、しっかり聞く(きく)ことができる。

H24年度

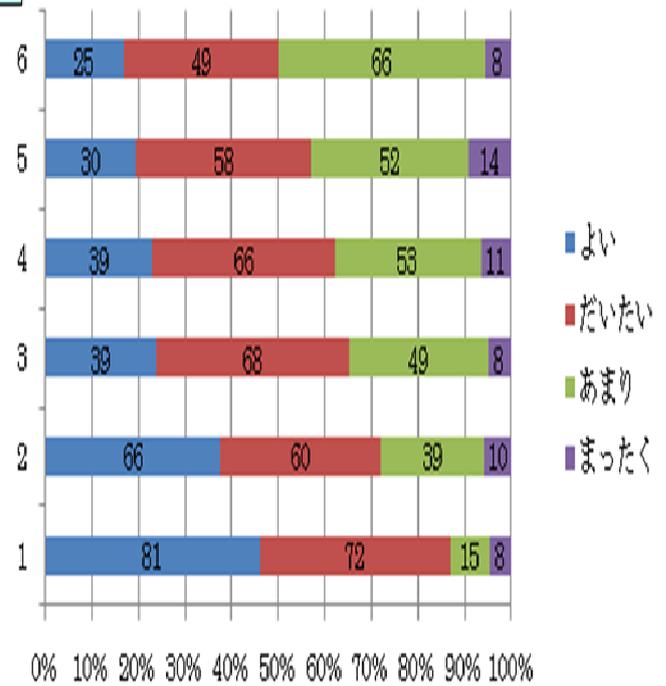
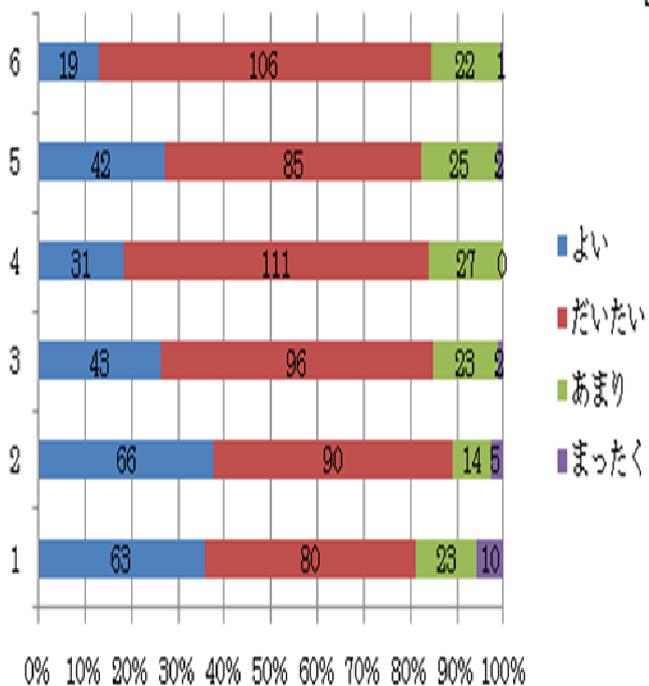
4 自分の考えを、進んで発表することができる。



3 人の話(はなし)を、しっかり聞く(きく)ことができる。

H23年度

4 自分の考えを、進んで発表することができる。

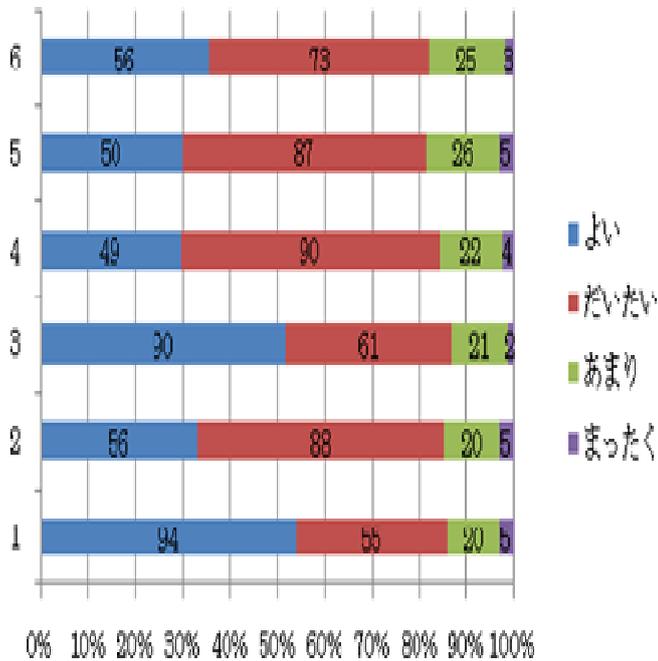


規範意識に関するイメージ

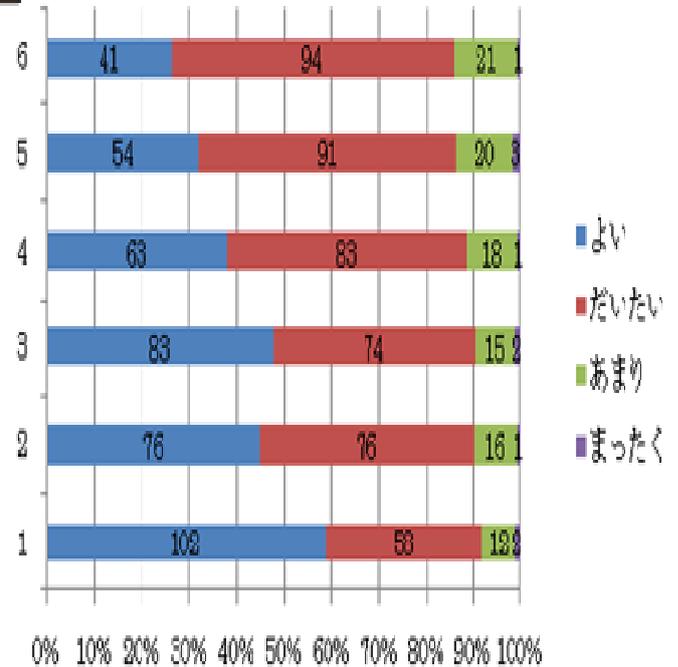
「忘れ物」、「きまりを守って行動できる」は、「まったく」の割合が減少した。ハテナボ運動や日々の生活指導の効果ではないだろうか。

H24年度

5 忘れ物はないで、学習の準備ができる。

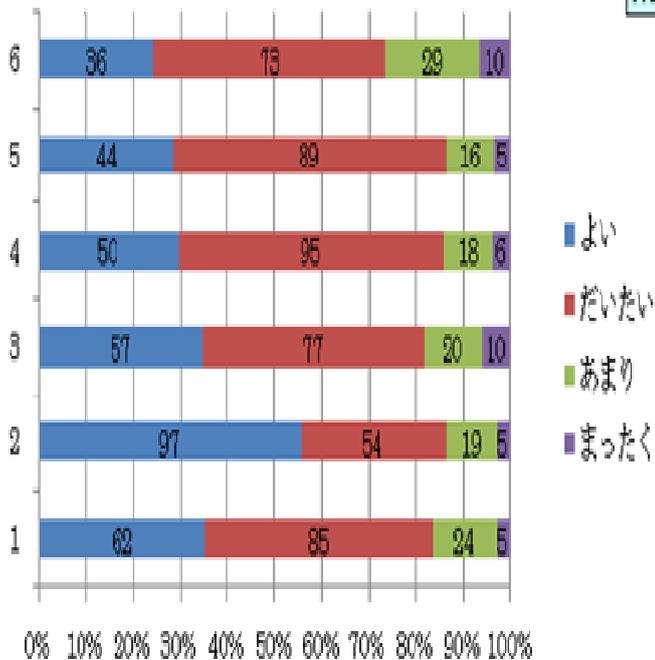


6 学校や学級のきまりをまもり、行動できる。

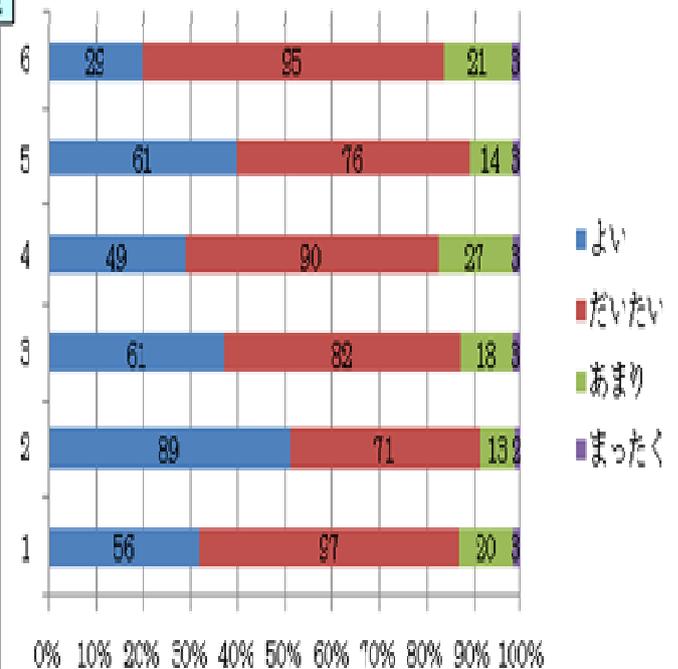


H23年度

5 忘れ物はないで、学習の準備ができる。



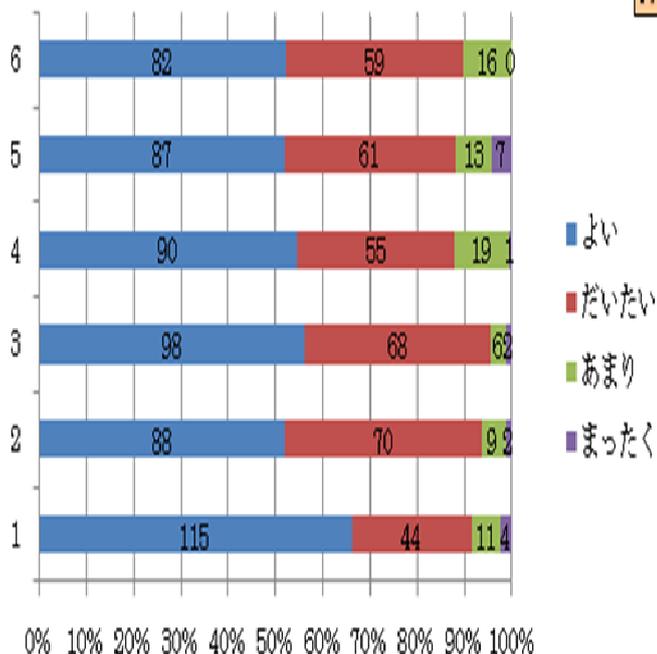
6 学校や学級のきまりをまもり、行動できる。



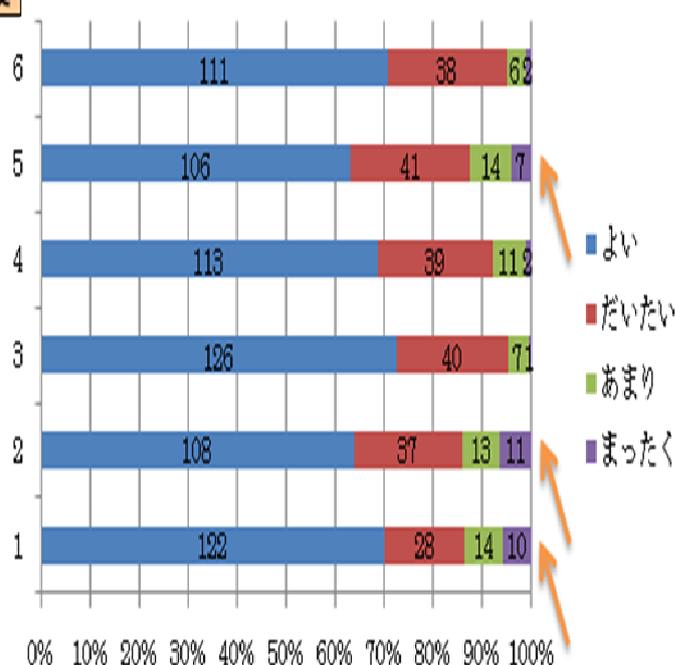
友達に関するイメージ

ほとんどの児童が、仲良くできる友達や助けしてくれる友達がいる。しかし、8の「まったく」の児童が、昨年より微増傾向にあり、気になるところである。交友関係を広げていく取組とともに、困った時は、いろんな方法で解決できること(「あのねポスト」に相談、「家の人」に相談、「先生」に相談など)も伝えていかねばならない。

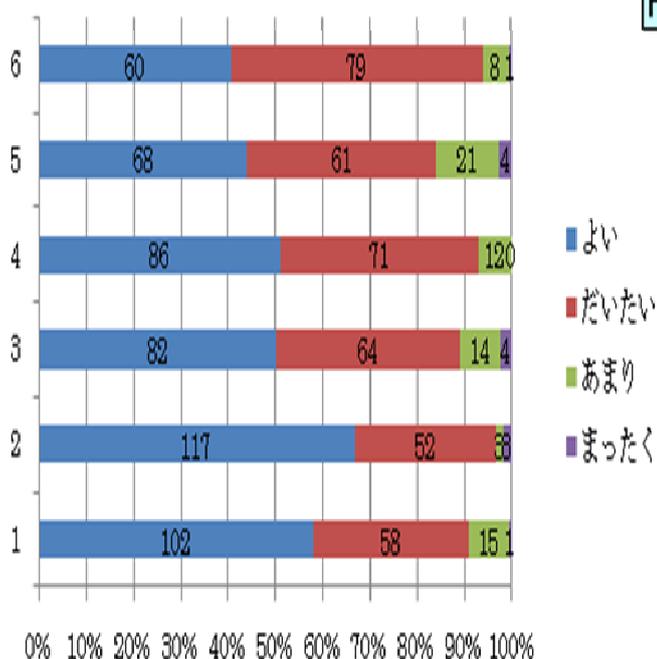
7 友だちを思いやり、だれとでもなかよくできる。



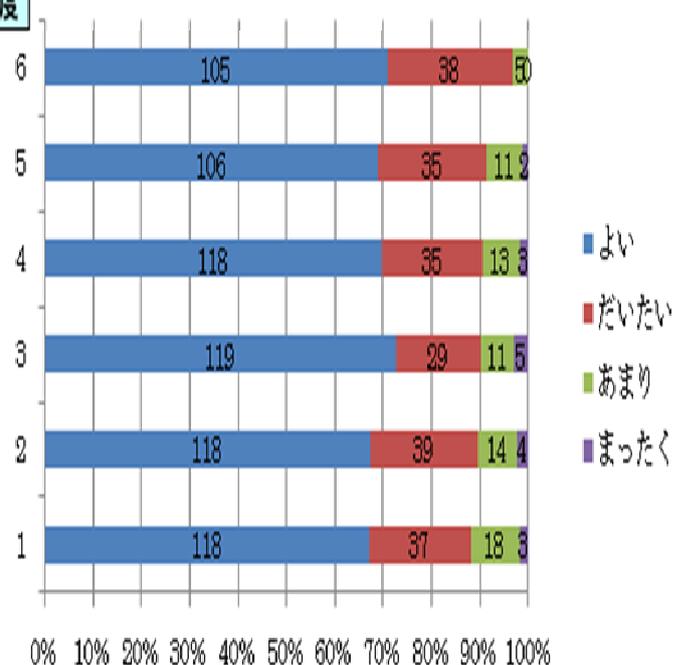
8 こまったとき、たすけてくれる友達ともだちがいる。



7 友だちを思いやり、だれとでもなかよくできる。



8 こまったとき、たすけてくれる友達ともだちがいる。

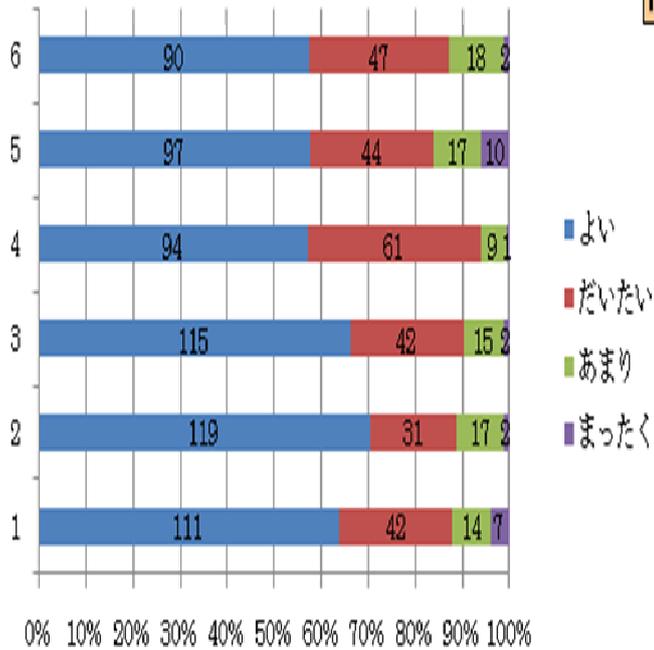


学校・学習に関するイメージ

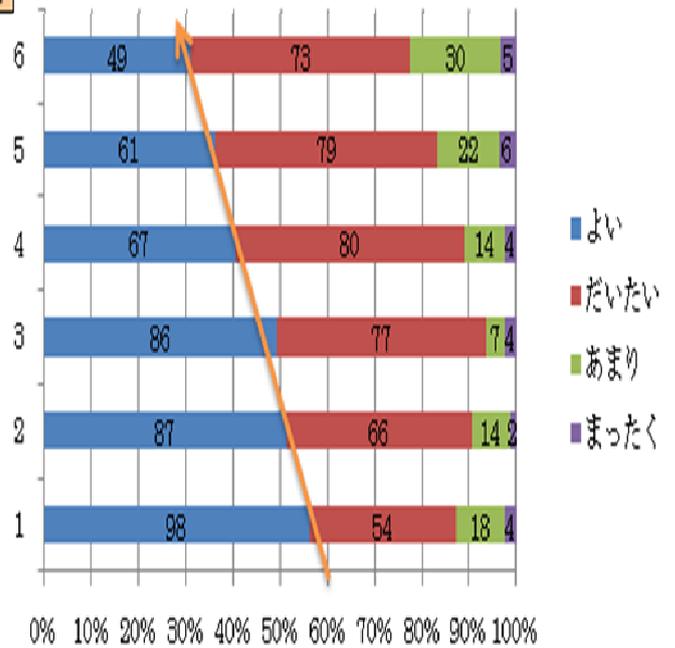
ほとんどの児童が、学校・勉強を楽しんでいる。

勉強を楽しみ(よい)と感じている児童の割合が、学年が上がるにつれて減少している。学習内容の高度化、学習量の増加が影響しているのだろう。

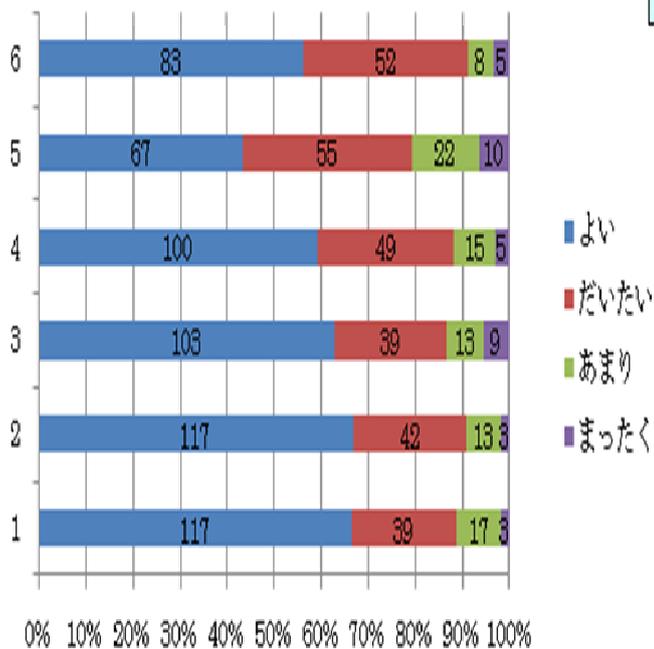
9 学校(がっこう)に行く(いく)のは楽しい(たのしい)。



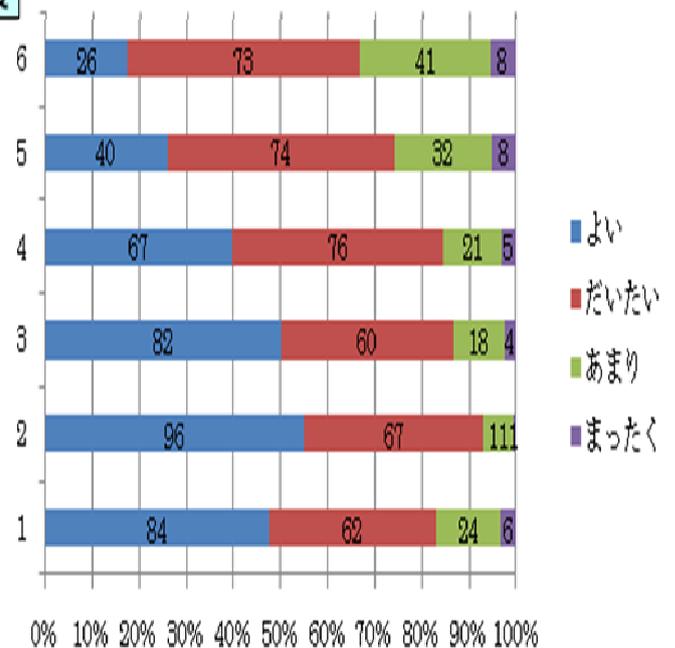
10 勉強(べんきょう)は、わかりやすく楽しい(たのしい)。



9 学校(がっこう)に行く(いく)のは楽しい(たのしい)。

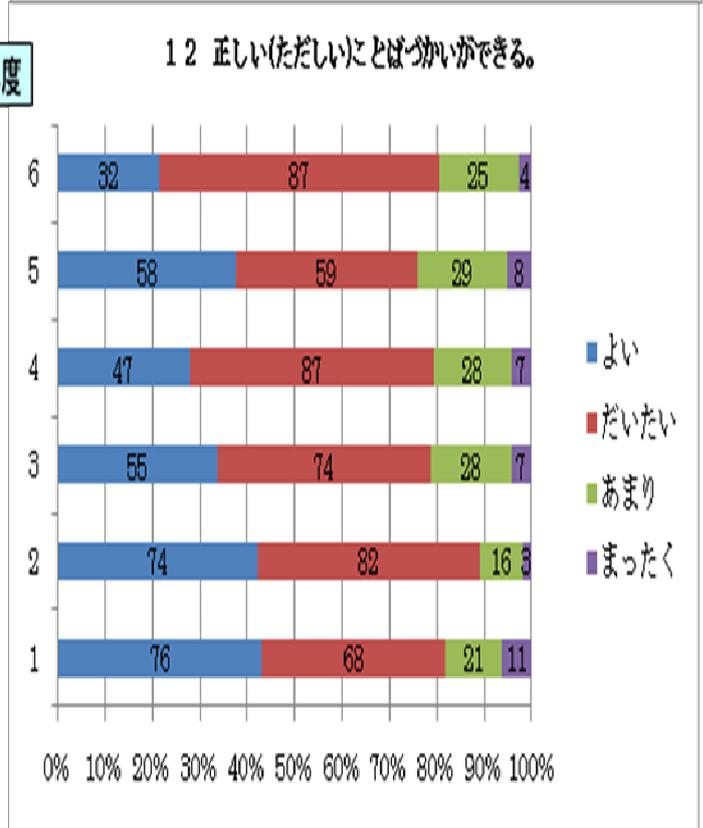
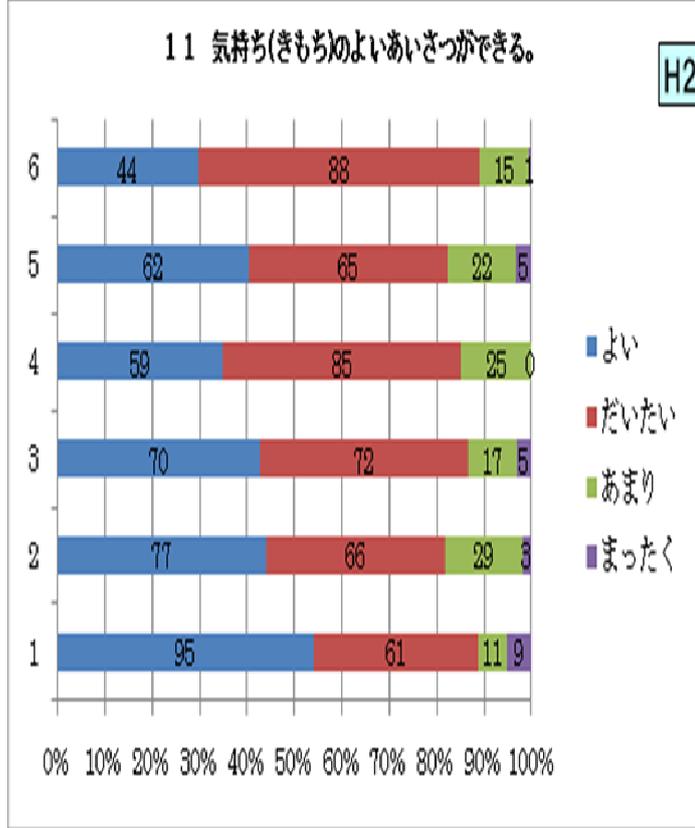
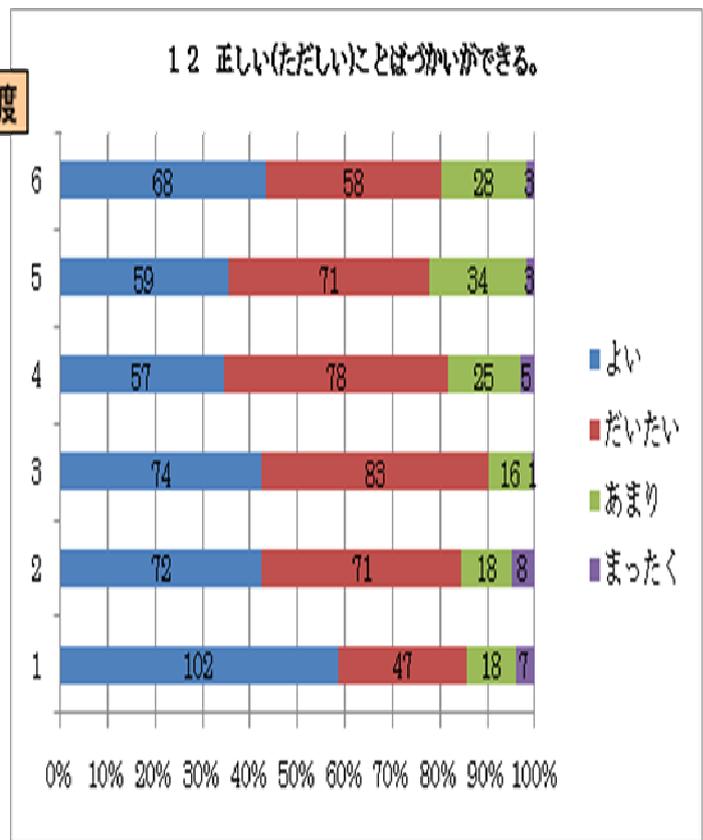
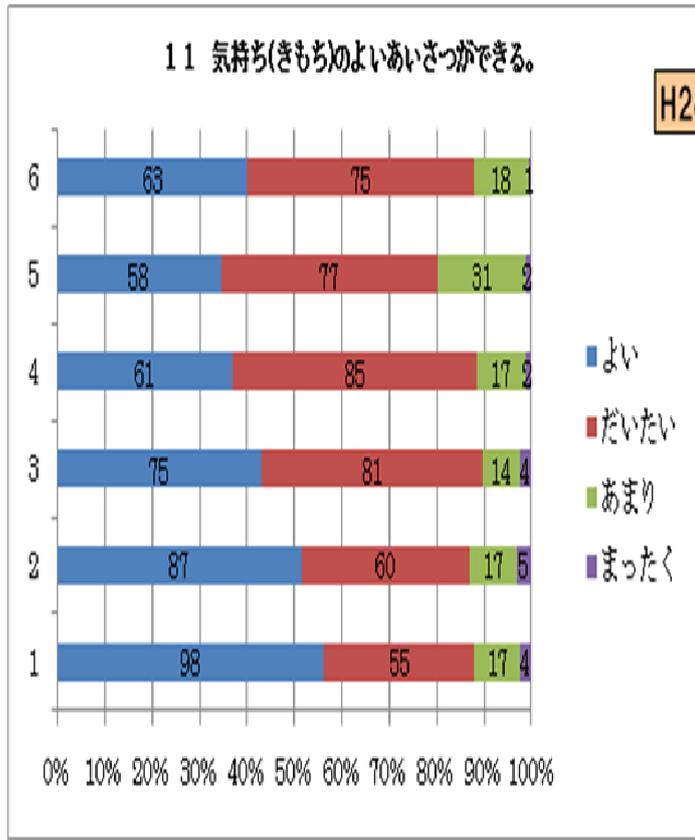


10 勉強(べんきょう)は、わかりやすく楽しい(たのしい)。



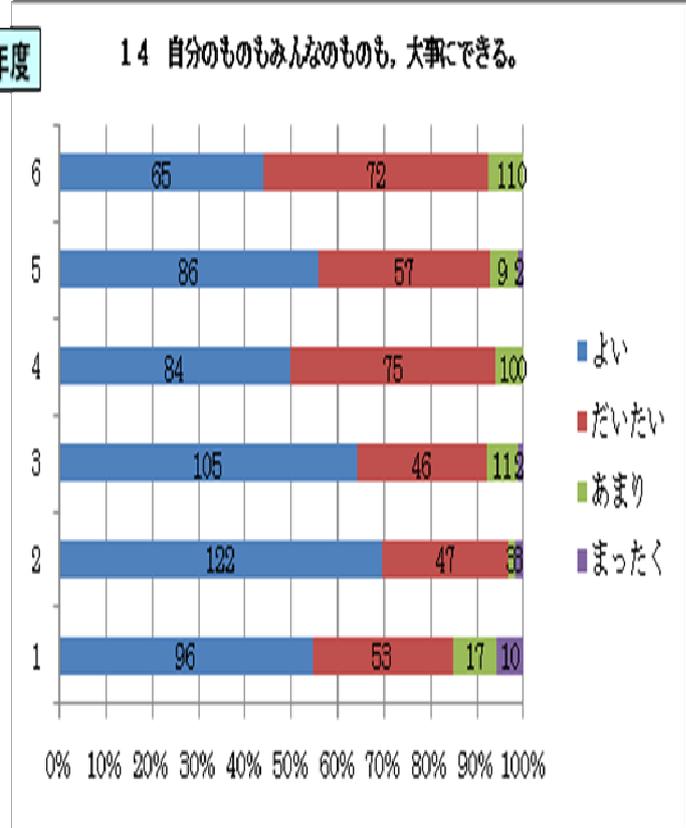
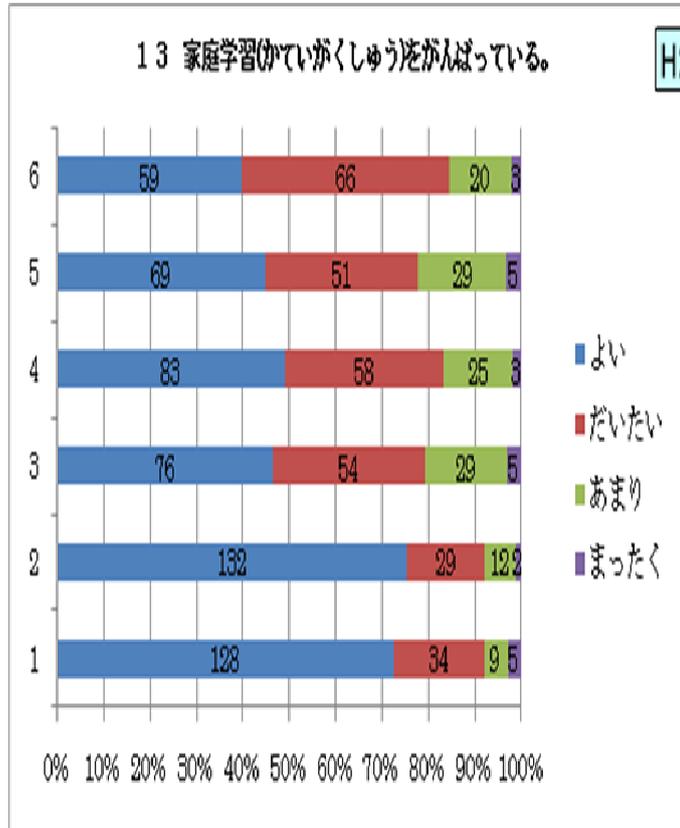
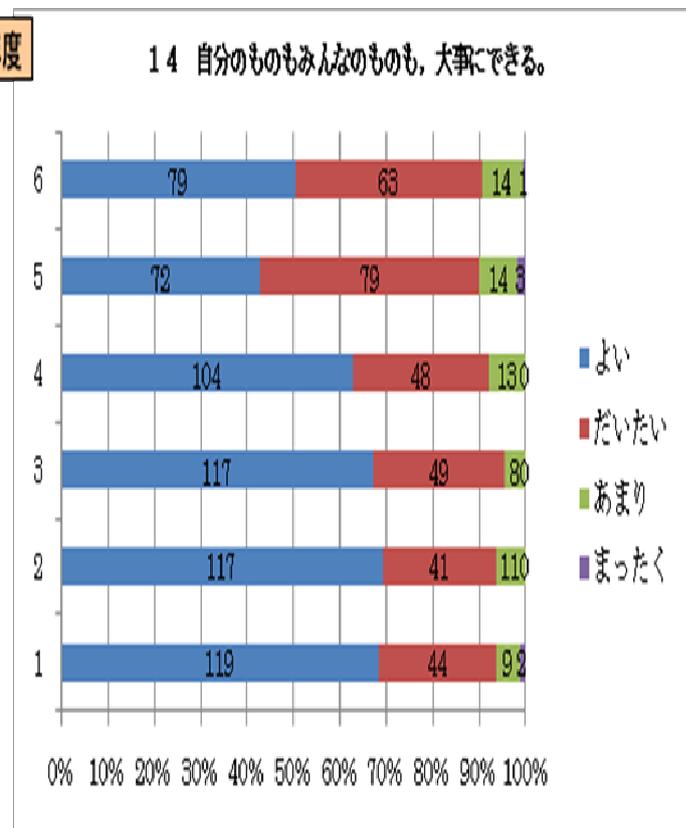
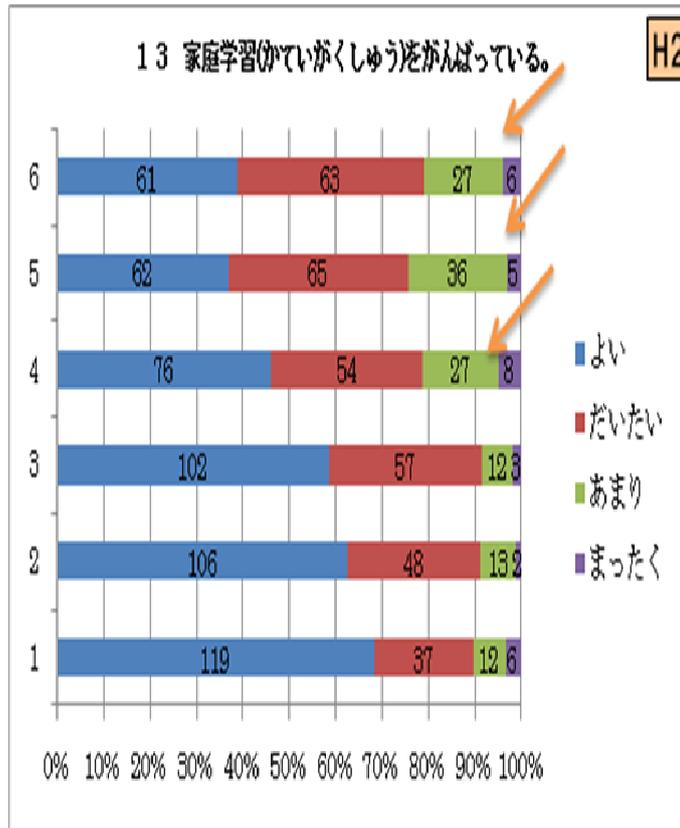
あいさつ・言葉遣いに関するイメージ

「あいさつ」「言葉遣い」を意識している児童は、年々増えている。今後は、校外での実践と的確な児童の自己評価が課題である。



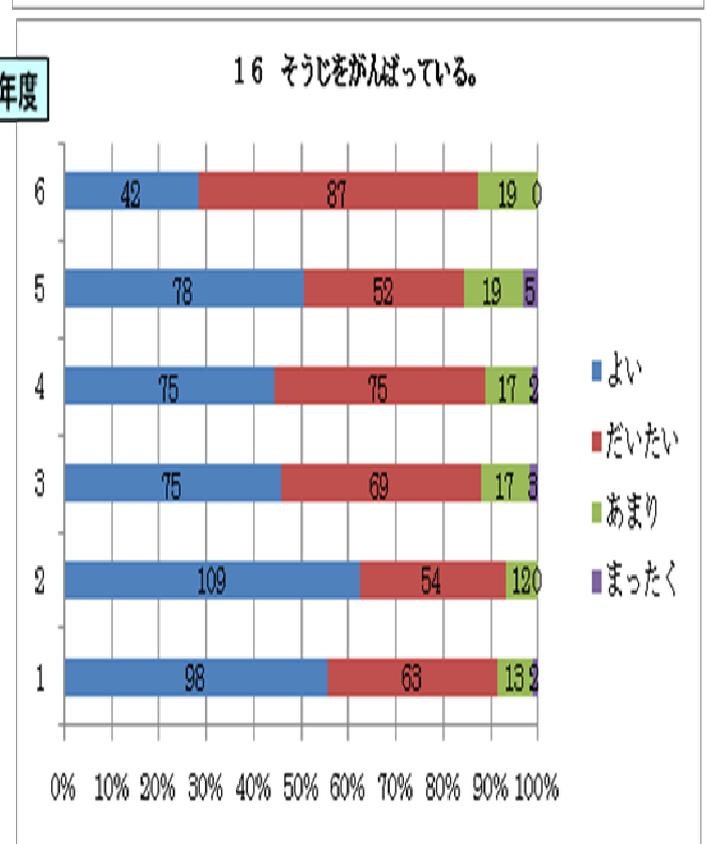
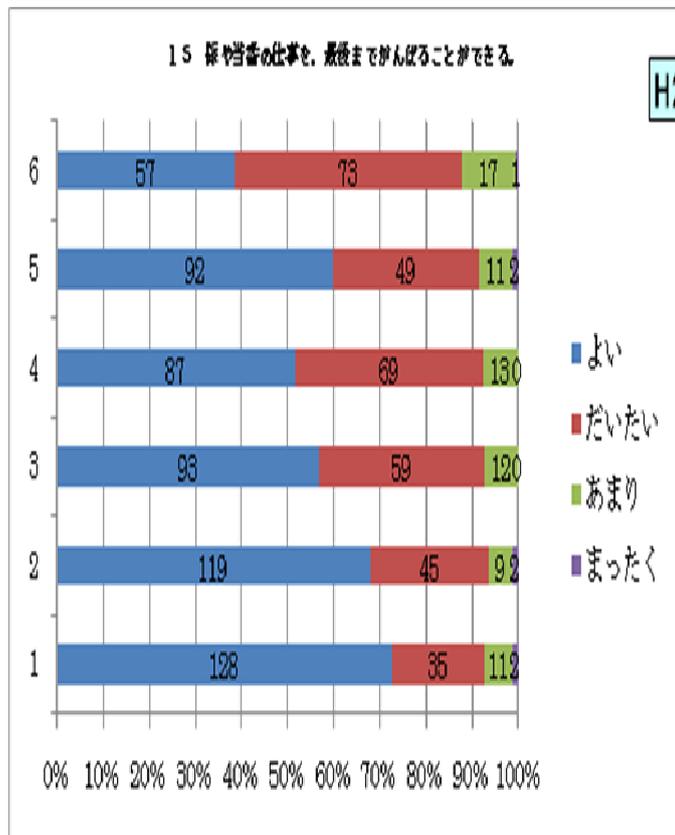
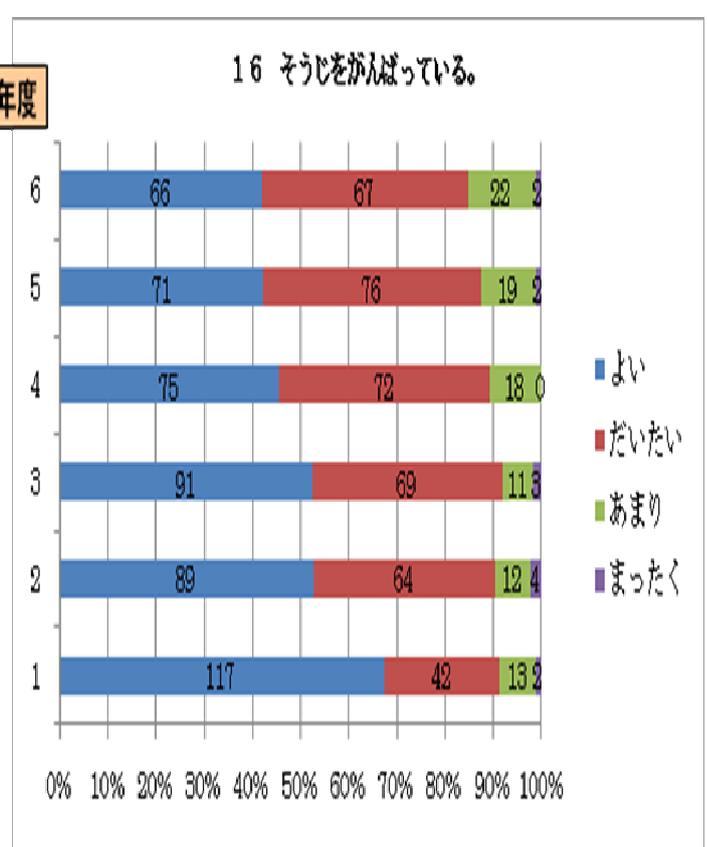
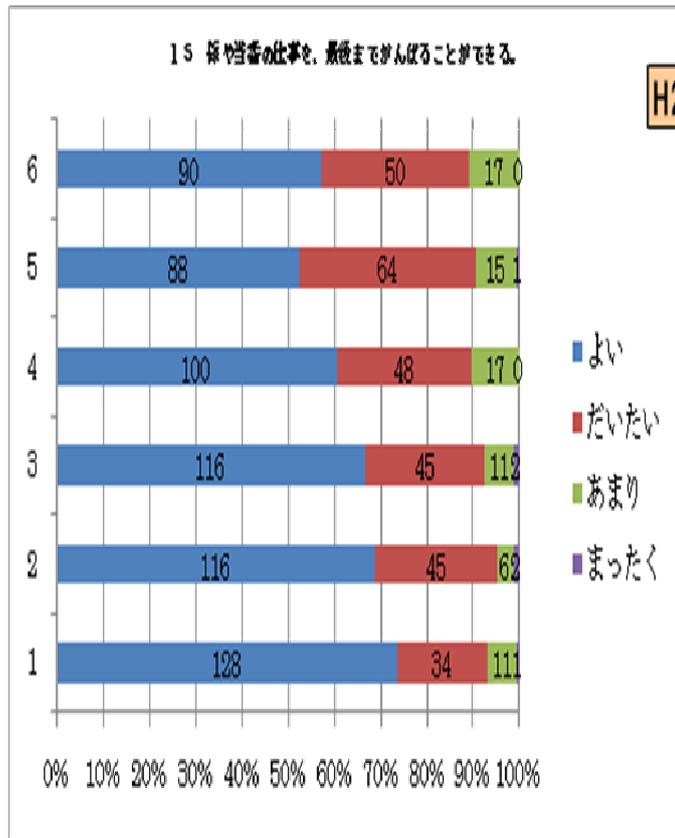
家庭学習や持ち物に関するイメージ

8割程度の児童は、家庭学習を頑張っていることがわかる。4～6年生の「あまり」「まったく」の児童への働きかけが、課題である。



勤労に関するイメージ

年々、係や当番の活動・掃除への意識が向上している。みんなのために働くことの大切さと喜びを実感させる指導を継続させていきたい。

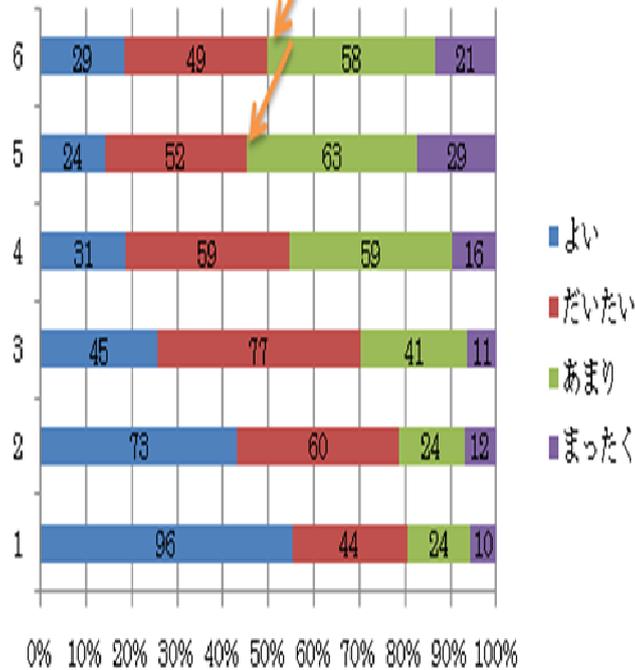


読書・トイレのスリッパに関するイメージ

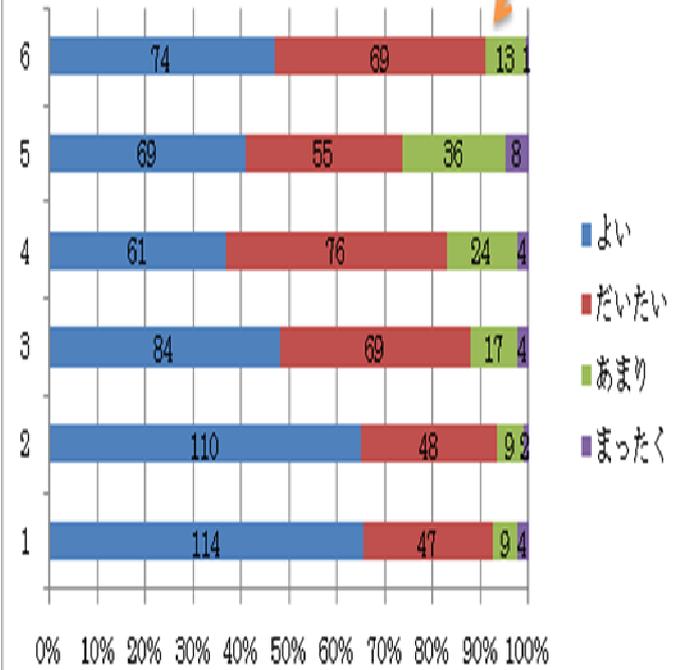
読書の習慣は、ある程度つきつつある。高学年は、図書室以外の本を読んでいるのかもわからないが、5～6年の「あまり」「まったく」の割合が50%を超えている原因を考え、手だてを講じる必要がありそうである。6年生がスリッパを並べようという意識が高いことはよい傾向である。

17 図書室(としよじつ)の本(ほん)をよく読んで(よんで)いる。

H24年度

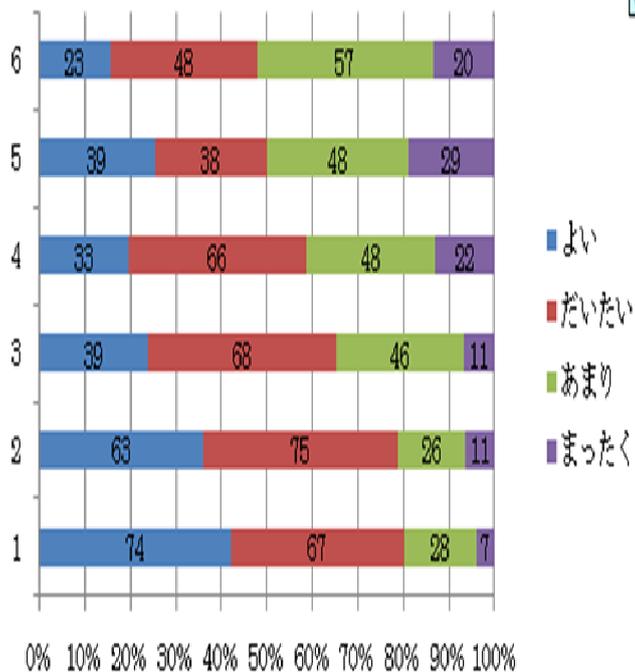


18 トイレのスリッパをならべている。

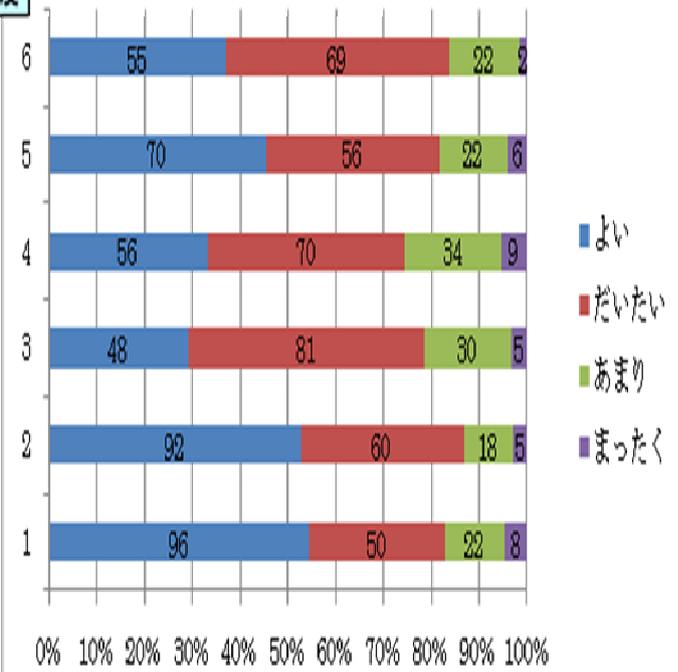


17 図書室(としよじつ)の本(ほん)をよく読んで(よんで)いる。

H23年度



18 トイレのスリッパをならべている。



登下校・時間を守ることにに関するイメージ

「集団登校」「チャイム」ともに意識、高まっている。「よい」「だいたい」を合わせた割合が90%を超えるように、今後も指導を継続していきたい。

